



別所だより

横浜市立別所小学校 令和6年2月21日発行



つなげよう 別所 レインボー

副校長 山中 智恵

別所小学校の1階廊下の掲示板には、7色の大きな虹の絵があり、その左半分には全クラスの「前期頑張ったこと」が掲示されています。「苦手なことをがんばって、たくさん成長できた」「すばやくきれいにそうじができるようになった」「がんばる力がついた」「給食で苦手なものもがんばって食べた」・・・よりよい生活をつくっていかこうとする子どもたちの姿が目に見えます。後期の終わりに右半分の掲示が埋まると、「つなげよう 別所 レインボー」という代表委員会で決めたスローガンを達成することができます。子どもたちの頑張りか虹の架け橋となり、一年間の自分自身の成長を振り返る機会になればいいなと思います。

今回の学校だよりでは、「健やかな体」を育成するために、各委員会で取り組んだ内容について紹介させていただきます。

冬休み前から、縄跳び大会に向けて、運動委員会の子どもたちが考えた「みんなの力でビュンビュンとピョンピョンを集めよう」と題した大きな模造紙が昇降口前に掲示されています。毎週火曜日と木曜日の練習日に校庭で縄跳びを跳んだ人数を記録するもので、目標人数を達成すると、「炎の縄跳び」「氷縄跳び」「黄金の縄跳び」を順番にゲットでき、大きな模造紙に描かれたイラストに色を塗ることができます。冬休み明けからは、スタンプカードの取り組みも加わり、多くの子どもたちが寒さに負けず縄跳びにチャレンジしていました。

今年の学校保健委員会は、「ケガの予防」～正しい姿勢とストレッチで体幹をきたえよう！！～というテーマで、取り組んでいます。運動会の前にも、各クラスでストレッチの動画を見ながら体を動かし、けがを防ぐ取り組みを実施していましたが、今回は横浜市スポーツ協会の方を講師でお招きし、本格的なストレッチを教えていただくことができました。保健委員会の子どもたちの活躍の場も多くあり、生放送で講師の先生と一緒に体を動かしたり、1～3年生と個別支援級のクラスに行って黒板の前に立ち、見本を見せたりしていました。

給食委員会では、1月下旬の1週間、給食週間の取り組みを企画しました。給食中のマナーが意識できるよう全校児童に向けて呼びかける動画を作成し、チェックシートでチェックができるよう各クラスで取り組みました。各自の食べ残しが減ったり、食事中的おしゃべりの声が大きくなりすぎないように意識したりするきっかけとなりました。

あと1か月で、進学・進級の春を迎えます。年度末に向けて、一年間のまとめの時期に入りますが、ご家庭でも、地域でも、子どもたちの頑張りを支えていただければと思います。